

## 【連絡先一覧】

### ★地域包括支援センター

名称	担当地域	住所	連絡先
旭市地域包括支援センター	中央小・富浦小・矢指小・豊畑小学校区	旭市二の 1920	0479-62-5433
旭市北部地域包括支援センター	琴田小・干潟小・共和小学校区・干潟地域	旭市秋田 1689-2	0479-68-2055
旭市東部地域包括支援センター	海上・飯岡地域	旭市横根 3520	0479-74-3433

### ★認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）配置先

名称	住所	連絡先
旭市地域包括支援センター	旭市二の 1920	0479-62-5433
旭市東部地域包括支援センター	旭市横根 3520	0479-74-3433
総合病院国保旭中央病院 認知症疾患医療センター	旭市イの 1326	0479-63-8111
介護老人保健施設シルバーケアセンター	旭市イの 1307	0479-64-0222
特別養護老人ホーム東総園	旭市イの 1326	0479-63-5343
海上寮療養所	旭市野中 4017	0479-60-0601
ロザリオ高齢者支援センター	旭市野中 3820-12	0479-60-0609

### ★行政関係連絡先一覧

名称	住所	連絡先
旭市役所高齢者福祉課 高齢者班 介護保険班	旭市二の 1920	0479-62-5350 0479-62-5308 0479-62-5398
旭市役所市民生活課 市民生活支援班	旭市二の 1920	0479-62-5396
旭市役所保険年金課 国民健康保険班 (国保特定健診専用) 高齢者医療年金班	旭市二の 1920	0479-62-5331 0479-62-5401 0479-62-5882
旭市役所健康管理課 予防班 支援班	旭市二の 2787-1 旭市横根 3520	0479-63-8766 0479-57-3113
旭市役所社会福祉課 障害福祉班 社会班	旭市二の 1920	0479-62-5351 0479-62-5317
旭市消費生活センター	旭市二の 5127	0479-62-8019
教育委員会生涯学習課 社会教育施設班	旭市高生 1	0479-55-2566

# 認知症になっても 安心して暮らせるまち旭 認知症ケアパス

## 「認知症ケアパス」とは

認知症の進行に応じて、旭市にお住まいの方が、「いつ」「どこで」「どのような医療や介護サービスが受けられるのか」といったケアの流れをまとめたものです。

認知症の方やその家族が、いつまでも住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の進行に応じた対応方法やサービスなどを紹介する「認知症ケアパス」をご活用ください。



## 認知症に気づくためのチェックリスト

このチェックリストは、医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

- 1 物の忘れがひどい
  - 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
  - 2 同じことを何度も言う・問う・する
  - 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
  - 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- 2 判断・理解力が衰える
  - 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
  - 6 新しいことが覚えられない
  - 7 話のつじつまが合わない
  - 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった
- 3 時間・場所がわからない
  - 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
  - 10 慣れた道でも迷うことがある
- 4 人柄が変わる
  - 11 些細なことで怒りっぽくなった
  - 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
  - 13 自分の失敗を人のせいにする
  - 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
- 5 不安感が強い
  - 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
  - 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
  - 17 「頭が変になった」と本人が訴える
- 6 意欲がなくなる
  - 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
  - 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
  - 20 ふさぎ込んで何をしても億劫がりいやがる

いくつか当てはまる場合には、相談してみましょう。



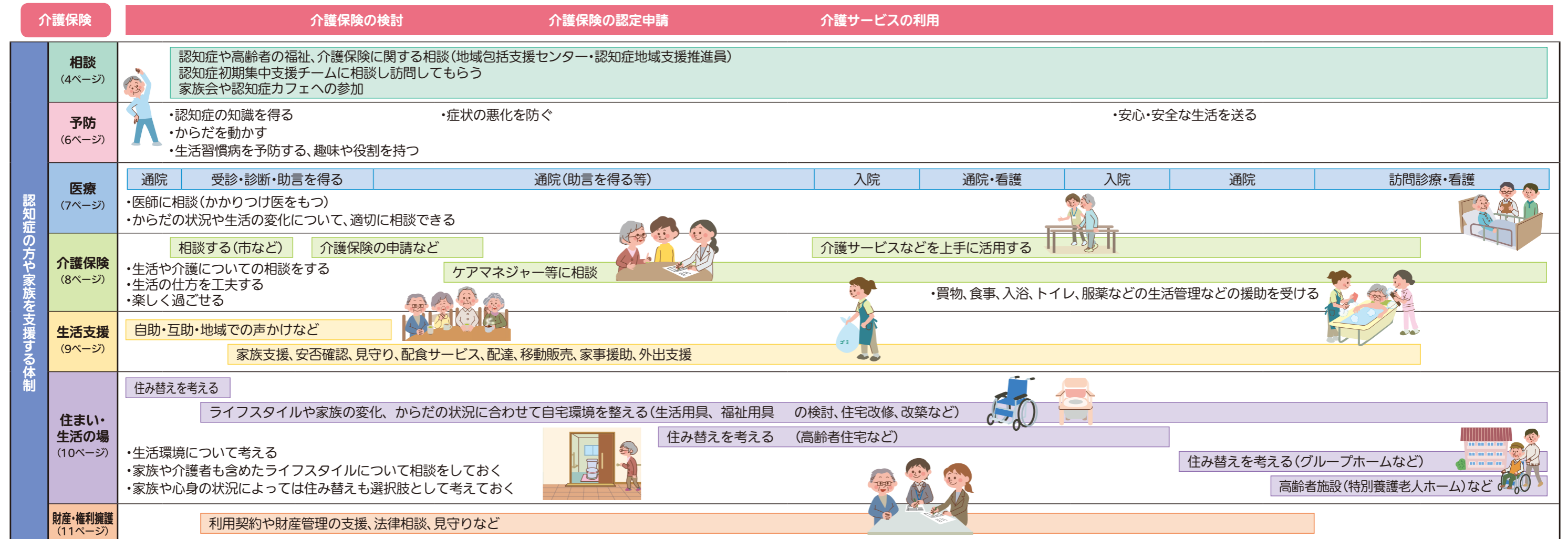
(公益社団法人 認知症の人と家族の会作成)

# 旭市

# 認知症の方とご家族に適時、適切なサービスと情報提供を行います

認知症を引き起こす疾患や身体状況などにより、必ずしもこの通りになるわけではありませんが、ご本人の様子により大まかな状況を把握していただき、今後を見通す参考としてください。この表は、右に行くほど認知症が進行していることを示しています。認知症の相談は、地域包括支援センターや市の窓口、認知症疾患医療センター等に相談しましょう。

認知症の段階		初期		中期		後期	
健康	軽度認知障害(MCI)	認知症の疑い	認知症はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立</li> <li>もの忘れは多少あるが日常生活は自立</li> <li>【MCIとは】正常と認知症の中間の状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もの忘れはあるが金銭管理や買い物、書類の作成など日常生活は自立</li> <li>もの忘れ</li> <li>同じことを言う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物の時にお札でしか支払えない(小銭が使えない)</li> <li>同じ物を何回も買う</li> <li>ATMの操作ができない</li> <li>身なりを気にしなくなる</li> <li>薬の飲み忘れ</li> <li>意欲低下</li> <li>火の消し忘れ</li> <li>趣味をやめてしまう</li> <li>食事の支度ができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物やお金の管理などこれまでできたことにミスが目立つ</li> <li>服の着方がおかしい</li> <li>電話の対応や訪問者の対応が一人では難しい</li> <li>たびたび道に迷う</li> <li>文字が上手に書けない</li> <li>もどかしさ、憤り、焦り、不安、孤独</li> <li>家電が扱えない</li> <li>家族とのトラブル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや食事、トイレなどがうまくできない</li> <li>トイレ、入浴に介助が必要</li> <li>親しい人がわからなくなった</li> <li>時間、場所がわからなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉によるコミュニケーションが難しくなる</li> <li>食事に介助が必要</li> <li>トイレの失敗</li> <li>歩行が不安定</li> <li>言葉が出ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい</li> <li>食事を口から、ほとんどとれない</li> <li>歩行困難・寝たきり</li> <li>誤嚥・肺炎</li> </ul>
家族の気持ち		年齢のせいだろう。言えばできるはず。とまどい。否定。悩みを肉親にすら打ち明けられないで一人で悩む時期。		混乱。怒り。他人の前ではしっかりするが、身近な人には症状が強くなる。相手のペースに振り回され、疲れてしまう。	生活すべてに介護が必要、介護量が増。あきらめ。割り切り。		受容。自分自身に投影。最期をどう迎えるか。
ご自身や家族でやっておきたいこと 決めておきたいこと	<input type="checkbox"/> 認知症や介護、介護保険のことを学ぶ機会を持ちましょう。 <input type="checkbox"/> かかりつけ医を持ちましょう。 <input type="checkbox"/> 今後の生活設計について考えておきましょう。 <input type="checkbox"/> 消費者被害に注意しましょう。 <input type="checkbox"/> 人生の最期をどう迎えるか、早い段階で医師などと話をしておき、どういった対応が必要か確認しておきましょう。 <input type="checkbox"/> 火のもとに気をつけ火災報知器をつけたり電磁調理器に変えたりすることを考えましょう。 <input type="checkbox"/> 家族の連絡先を分かるようにしておきましょう。 <input type="checkbox"/> 地域の方との交流を持ちましょう。 <input type="checkbox"/> 安否確認ができるよう緊急通報装置等の利用について考えてみましょう。			<input type="checkbox"/> 一人で抱え込まずに介護仲間を作りましょう。 <input type="checkbox"/> どんな医療や介護のサービスがあるのかを把握、利用し、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。 <input type="checkbox"/> 認知症を隠さず、身近な人に伝え、理解者や協力者をつくりましょう。		<input type="checkbox"/> 介護する家族の健康や生活を大切にしましょう。 <input type="checkbox"/> 今後のことについて検討し、必要に応じて施設の情報収集などを行っておきましょう。	



# 認知症の方を支える社会資源



## ① 相談・介護者支援

### ◎認知症の相談(※相談先は裏表紙参照)

#### ◆地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が、高齢者や家族、ケアマネジャー等からの介護、福祉、保健に関する相談を受け、支援を行います。



#### ◆認知症疾患医療センター(総合病院国保旭中央病院 ☎0479-63-8111)

①認知症に関する専門医療相談②原因となる疾患の特定と初期対応③身体合併症、認知症による症状(周辺症状)の診断と治療④医療福祉スタッフへの研修を行っています。

#### ◆在宅介護支援センター

在宅で高齢者の介護を行っている家族に対し、介護に関する総合的な相談に応じ、その内容に適した介護指導や必要なサービスが受けられるよう調整を図るとともに介護保険サービスの情報提供を行います。

名称	住所	連絡先
東総園	旭市イの1326	0479-62-5580
やすらぎ園	旭市イの3925-2	0479-63-9011
恵天堂	旭市蛇園2532	0479-55-6541

#### ◆中核地域生活支援センター(海匠ネットワーク ☎0479-60-2578)

24時間、365日相談受付。権利擁護など福祉全般にわたる相談に対応、訪問相談も実施しています。

#### ◆公益社団法人 認知症の人と家族の会

(千葉県支部 ☎043-204-8228 月・火・木 13時~16時)

ちば認知症相談コールセンター ☎043-238-7731 月・火・木・土 10時~16時)

相談経験豊富な介護経験者が相談に応じるほか、家族のつどいなども行っています。

#### ◆在宅介護相談協力員(民生委員・保健推進員)(高齢者福祉課)

地域の要介護者等に対する保健福祉サービスの相談や在宅介護支援センター・地域包括支援センターなどへ紹介、連絡等を行います。

#### ◆こころの健康相談(八日市場地域保健センター 保健所 ☎0479-72-1281)

精神疾患(うつ病など)等のこころの健康相談、アルコールの専門相談を行っています。

#### ◆健康相談(健康管理課)

生活習慣病をはじめ、市民の健康や栄養に関する相談を、訪問、電話、窓口で実施しています。



#### ◆歯科相談(健康管理課)

むし歯や歯周病予防をはじめ、市民の歯や口腔に関する相談を定期的に保健センターで実施しています。

### ◎家族のつどい等

#### ◆家族交流会、家族会

認知症の方を介護する家族が集まり、介護体験や日頃の悩みを話し合い、情報交換や交流を行います。

##### ・家族交流会

開催日：不定期 年4回程度

問い合わせ先：各地域包括支援センター

##### ・Café はじめまして

開催日：年4回

問い合わせ先：海上寮療養所 ☎0479-60-0601

#### ◆認知症カフェ

認知症の方や家族、地域住民、専門職等が集い、情報交換や交流を行っています。

##### ・オレンジ・カフェ こもれび

場所：旭市社会福祉協議会(飯岡福祉センター内)

開催日：第2水曜日 13時30分~15時30分

参加費：100円

問い合わせ先：旭オールドエイジセンター ☎0479-63-8827

##### ・オレンジ・カフェ かがやき

場所：旭オールドエイジセンター

開催日：不定期 13時30分~15時30分

参加費：100円

問い合わせ先：旭オールドエイジセンター ☎0479-63-8827



### ◎若年性認知症の方への支援

#### ◆若年性認知症コールセンター(☎0800-100-2707 月~土 10時~15時)

様々な疑問や悩みに対し、専門教育を受けた相談員が対応します。

#### ◆障害者就業・生活支援センター(東総就業センター ☎0479-60-0211)

障害者の雇用、就業、生活についての相談を行っています。

#### ◆障害サービス(社会福祉課)

##### ・自立支援医療(精神通院医療)制度

精神通院医療に係る費用の一部を公費にて負担します。自己負担は医療費の1割負担で、所得に応じた自己負担上限額があります。

対象者：精神障害のため、通院による医療を継続的に必要とする方(指定医療機関・専門医)

##### ・重度心身障害者医療助成制度

医療費の自己負担を一部助成します。

対象者：精神障害者保健福祉手帳1級所持者 ※新規取得の場合は65歳未満が対象



## ② 予防

元気なうちから、健康的な生活習慣を身につけ、外出や他者との交流機会・趣味や役割を持って過ごすことが大切です。

### ◆介護予防サポーター養成講座（各地域包括支援センター）

介護予防に関する知識を身につけ、自身の健康に役立てるほか、地域で体操や交流を広めるボランティアとして活動します。

### ◆認知症サポーター養成講座（各地域包括支援センター）

認知症を正しく理解し、地域で高齢者やその家族を見守る応援者を養成します。

### ◆あさピー☆きらり体操（各地域包括支援センター）

身近な地域での住民主体の通いの場で介護予防のための体操を実施します。5人以上のグループで、事前説明会の申し込みをしてください。

### ◆認知症講演会（各地域包括支援センター）

市民の皆さん等を対象に広く認知症について専門的な知識を身につけていきます。

### ◆国保特定健診・後期高齢者健診（保険年金課・健康管理課）

ご自身の健康のため、健診を受診し、生活習慣病の予防・改善に役立てましょう。

### ◆歯周病検診（健康管理課）

歯周病予防のため、協力歯科医院で歯科検診を実施します。  
(当年度中40、50、60、70歳になる方に限る)

### ◆後期歯科健診（保険年金課）

口腔機能低下予防のため、協力歯科医院で歯科健診を実施します。  
(当年度中76歳になる方に限る)

### ◆国保健康教室（健康管理課）

生活習慣病予防に役立つ、食事・運動の実践内容を提供します。

### ◆運動教室（健康管理課）

健康づくりに役立つ、運動や体操を行います。自宅でも継続して取り組みましょう。

### ◆いいおかけんこうセンター（☎0479-57-5525）

### ◆海上健康増進センター（☎0479-55-5553）

健康の維持・増進や生活習慣病予防のため、運動習慣を身につけましょう。事前に登録が必要です。(気軽にエクササイズ、アクアフィットネス等の教室あり)

### ◆あさひ健康福祉センター（☎0479-62-0686）

仲間づくり、いきがいやレクリエーション活動、健康増進を図るための施設です。

### ◆公民館活動（生涯学習課）

年齢層に応じた各種講座を開催しています。講座内容・開催時期等は公民館だよりやホームページ・生涯学習ガイドブック等でお知らせしています。

### ◆ボランティア活動（旭市社会福祉協議会 ☎0479-57-5577）

ボランティアの相談、登録、養成、研修、情報提供などを行っています。



### ◆シルバー人材センター（旭市シルバー人材センター ☎0479-60-1150）

健康で働く意欲のある高齢者へ、社会参加や生きがいづくりのために仕事を提供します。

### ◆老人クラブ（社会福祉課）

高齢者の仲間づくり、いきがい活動、健康増進のために活動しています。

### ◆ふれあい交流会（旭市社会福祉協議会 ☎0479-57-5577）

市内16地区社協では、高齢者地域ふれあい交流事業として、地区内の高齢者を対象とした交流会（講話やレクリエーション）等を実施しています。

### ◆まちづくり出前講座（市民生活課）

市民の皆様が主催される催しに、市の担当職員が出向き、市の施策や取組についてお話しします。10人以上のグループで申し込みをしてください。

### ◆健康づくり出前講座（総合病院国保旭中央病院 広報患者相談課 ☎0479-63-8111）

旭中央病院の医師や看護師などが、地域へ出向き、健康の維持や病気の予防についてお話しします。10人以上のグループで申し込みをしてください。



## ③ 医療

### ◆かかりつけ医

自宅の近くにあって健康の不安を感じたときに気軽に相談でき、自分の病状や病歴だけでなく、家族などの健康状態も把握し診療を行う医師、歯科医師のことです。  
※かかりつけ医（ホームドクター）をはじめ、かかりつけ薬局をもつことがいざという時のために重要になっています。

### ◆往診

在宅で療養していて通院が困難な方に対して、ご本人の希望や病状の急変などに対応し、必要に応じ自宅を訪問して診療を行います。

### ◆訪問診療・訪問歯科診療

在宅で療養していて通院が困難な方に対して医師、歯科医師が計画的、定期的に自宅を訪問して診療を行います。

### ◆認知症疾患医療センター （総合病院国保旭中央病院 ☎0479-63-8111）

受診には紹介状が必要です。脳神経外科、神経内科、神経精神科で認知症診療をしています。受診方法は各科で異なりますので、受診前にご確認ください。  
旭中央病院では病状が安定した患者さんは、かかりつけ医へ紹介し、かかりつけ医の紹介により再度旭中央病院を受診していただくこともできます。

### ◆認知症初期集中支援推進事業（旭市地域包括支援センター）

認知症サポート医や看護師、社会福祉士など、医療・介護の専門職がチームとなって認知症やその疑いのある方の家庭へ訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげるための支援を行います。

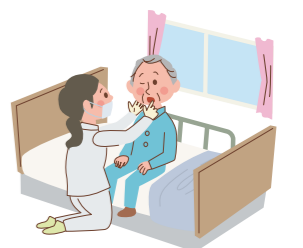
#### 【対象者】

在宅で生活している認知症が疑われる40歳以上の方で、①、②いずれかに該当する場合

- ①医療や介護保険サービスを受けていない、または中断している方
- ②認知症の症状で対応に困っている方

### ◆認知症外来（要予約）

・海上療養所 ☎0479-60-0601



## ④ 介護保険

介護が必要な状態になったら介護保険サービスの利用を検討しましょう。

介護保険サービスは、所得に応じて費用の1～3割を負担することで利用できます。

※要介護度によって、利用できるサービスは異なります。ケアマネジャーと一緒に状況に合ったサービスの利用について相談しましょう。

### 在宅で利用できる介護保険サービスの例

#### 自宅を訪問してもらう

- ◎訪問介護
- ◎訪問入浴介護
- ◎訪問看護
- ◎訪問リハビリテーション
- ◎居宅療養管理指導



#### 生活する環境を整える

- ◎福祉用具貸与
- ◎特定福祉用具購入
- ◎居宅介護住宅改修

#### 施設に通って受ける

- ◎通所介護
- ◎認知症対応型通所介護
- ◎通所リハビリテーション



#### 短期間施設に泊まる

- ◎短期入所生活介護
- ◎短期入所療養介護

#### 通いを中心とした複合的なサービス

◎小規模多機能型居宅介護

## ⑤ 生活支援（介護保険外）

### ◎市の福祉サービス（高齢者福祉課）

#### ◆緊急通報体制等整備事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に対し、緊急事態に備えて24時間体制で対応できる通報装置を設置します。（協力員が必要）

費用：前年分所得税額により一部負担有り

※別棟や隣家に身内の方が居住している場合は対象外

※高齢者の方でも働いている方は対象外



#### ◆配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、または高齢者と心身に障害のある方のみで構成されている世帯で、老化、傷病等の理由により、食事の調理が困難な65歳以上の高齢者に対して、昼食をお届けし、栄養状態の改善と併せて安否確認を行います。（週3回以内）

費用：1食300円



#### ◆外出支援サービス事業

一般の交通機関やタクシー等の利用が困難な65歳以上の高齢者や、身体障害者で下肢の不自由な40歳以上の方が、医療機関への受診等、送迎に利用できます。

費用：市民税課税世帯300円、市民税非課税世帯100円

※車いす、ストレッチャー利用の方が対象

#### ◆紙おむつ給付事業

在宅の寝たきりや認知症などで、常時失禁状態にある介護度が重度の高齢者に、年間270枚～540枚の紙おむつを給付します。

（所得状況、要介護度に応じて枚数が異なります）



#### ◆生活管理指導短期宿泊事業

要介護認定を受けていない在宅の65歳以上の高齢者で、要介護状態への進行を予防するため、短期間での宿泊（6か月で14日以内）による日常生活の指導、支援を行います。

### ◎見守り

#### ◆高齢者見守りネットワーク事業（高齢者福祉課）

市と事業協定を結んだ事業所・団体（協力事業者）が、相互に連携して高齢者の見守り活動を行い、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活を継続できるよう、協力事業者は、日常の業務の中で、高齢者の『異変』に気付いた場合に、市（緊急時は警察・消防署に通報）に連絡。市は関係機関と連携し、高齢者の状況に応じた速やかな対応・支援を行います。

#### ◆民生委員（社会福祉課）

民生委員は、担当する地域に暮らす身近な相談相手として、地域住民からの生活上の心配ごとや困りごとの相談に応じています。そして、その課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。

#### ◆保健推進員（健康管理課）

市民と行政のパイプ役として市から委嘱を受け、市の保健事業の協力や健康に関する啓発活動を行なっています。

## 認知症の方への接し方

### 認知症の方への対応の心得「3つの『ない』」

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない

### 具体的な対応の7つのポイント

#### □まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です

#### □余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう

#### □声をかけるときは一人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ一人で声をかけます

#### □後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました？」「こちらでゆっくりどうぞ」など

#### □相手の目線に合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します

#### □おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です

#### □相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます

※「認知症を学び 地域で支えよう」全国キャラバン・メイト連絡協議会から引用

## ◎その他

### ◆免許証返納（旭警察署交通課 ☎0479-64-0110）

ご本人が自らの意思で有効期限の残っている運転免許証を返納した場合、「運転経歴証明書」の申請ができます。住所地の警察署、運転免許センターへ相談しましょう。  
自主返納者には一部の交通機関（バスやタクシー）運賃の割引等の優遇措置が受けられます。

### ◆シルバー人材センター（旭市シルバー人材センター ☎0479-60-1150）

屋内外の軽作業、掃除、家事手伝い等、様々な内容の仕事を行っています。

### ◆介護タクシー

一人で外出することが難しい高齢者や障害のある方をサポートする車両です。介護職員初任者研修初級以上の資格を持つスタッフが運転しています。



### ◆自費ヘルパー

介護保険サービスでは支援できない部分を依頼することができます。料金は事業所により異なります。

## ⑥ 住まい・生活の場

### ◆ケアハウス

概ね60歳以上の方で自炊ができない程度の身体機能の低下により独立して生活するには不安があり、家族の援助を受けることが困難な場合に入居できます。

### ◆高齢者住宅

介護が必要となった場合、入居者自身の選択により、地域の訪問介護や通所介護等の介護サービスを利用しながら居室での生活を継続することが可能です。

### ◆特別養護老人ホーム

原則、要介護3以上の方で日常生活に常時介護が必要であって、自宅では介護が困難な方が利用できます。食事、入浴、排せつなどの日常生活の介護や健康管理が受けられます。

### ◆養護老人ホーム

原則65歳以上で、身体上または精神上の理由により、自宅での生活が困難、また、住まいがない等困窮しており生活が困難な方が入所できます。

### ◆グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

共同生活を営むことに支障のない認知症の方が、小規模な生活の場（5～9人までの共同居住形態）において、食事の支度、掃除、洗濯等を介護スタッフと共同で行います。



### ◆介護老人保健施設

要介護1以上の方で、状態が安定し、病院から退院した方などが、在宅生活に復帰できるよう、リハビリテーションを中心とする医療ケアと介護を受ける施設です。



## ⑦ 財産・権利擁護

### ◆消費生活相談（旭市消費生活センター）

契約トラブルや架空請求に関すること、多重債務等の相談に応じます。

### ◆すまいる（日常生活自立支援事業）（旭市社会福祉協議会 ☎0479-57-5577）

日常的な金銭管理のお手伝い等を行うことで、住み慣れた地域で生活できるようにサポートします。

### ◆成年後見制度

認知症等により判断能力が十分でない方が、地域で安心して生活できるよう、財産管理等を法的に支援する制度です。



### ◆法テラス（法テラス・サポートダイヤル ☎0570-078374

月～金 9時～21時 土 9時～17時）

電話等により、相談内容に応じた法制度や手続、適切な相談機関の紹介等を行っています。

### ◆何でも相談（東総権利擁護ネットワーク☎090-7288-9270）

弁護士と福祉専門職のペアによる無料の個別相談会です。

予約制 毎月第3金曜日 15時～18時

### ◆市の法律相談（市民生活課）

弁護士による無料相談を行っています。

予約制 毎月第2、4月曜日



### ◆人権・行政相談（市民生活課）

人権問題や行政への意見等の相談に応じます。

毎月第2、4火曜日

### ◆用語集◆

- ・ **認知症コーディネーター**：認知症に関する知識をもつ医療、介護、福祉の専門職。地域の資源を把握し、関係機関相互のネットワークを活用しながら、連携を円滑に進めていくために専門職への助言等の支援を行う。
- ・ **認知症地域支援推進員**：認知症に関する医療・介護の推進役で、市役所や病院等に配置されている。
- ・ **認知症サポーター**：認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者。認知症サポーター養成講座を受講した方。
- ・ **キャラバン・メイト**：認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を市民に伝える講師役。
- ・ **地域包括支援センター**：高齢者の総合相談窓口。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう介護保険制度、保健福祉サービス、高齢者虐待等、総合的に相談を受け、支援を行う。
- ・ **在宅介護支援センター**：介護に関する総合的な相談に応じ、介護指導や必要なサービスが受けられるよう調整を図るとともに介護保険サービスの情報提供を行う。
- ・ **ケアマネジャー（介護支援専門員）**：利用者の希望や心身の状態にあったサービスが利用できるように導いてくれる介護サービスの窓口役です。ケアプランの作成などを行います。